

# 財団法人地球産業文化研究所

公 募 公 告

23 地研 EA3 第 07151 号

平成 23 年 7 月 20 日

## 2012 年麗水世界博覧会における愛・地球博成果継承発展事業の企画募集について

財団法人地球産業文化研究所(以下「当財団」といいます。)は、「自然の叡智」をテーマに開催された 2005 年日本国際博覧会(愛・地球博)の基本理念を継承発展させるために、これまで、スペインの 2008 年サラゴサ国際博覧会(サラゴサ万博)及び 2010 年上海国際博覧会(上海万博)において、さまざまな事業を展開してまいりました。

来年、2012 年 5 月 12 日から 8 月 12 日までの 3 ヶ月間、大韓民国全羅南道麗水市において、2012 年麗水万国博覧会(麗水万博)が開催されます。そして、麗水万博における日本のナショナルデーである「ジャパンデー」は、6 月 2 日(土)が予定されております。

当財団といたしましては、ジャパンデーの前後及び会期中のいずれかの期間において、「愛・地球博から麗水万博へ」をテーマとし、それぞれの国際博覧会の理念のつながりを重視した事業を行うことを考えています。

今回、当財団は、事業の企画に当たって、愛・地球博を支えていただいた関係者をはじめ皆様方から、前段の主旨に沿う行事の企画を提案いただき、それらの意見を反映させた形で、提案者の方の協力をいただきながら事業を実施します。

つきましては、下記により、「2012 年麗水世界博覧会における愛・地球博成果継承発展事業」の企画を募集しますので、お知らせします。

記

### 1 提案いただく事業の内容

提案いただく事業の内容は、次の要件を満たすものとします。ただし、その形態は、行催事、シンポジウム、セミナー等が考えられますが、特に制限を設けません。

- (1) 愛・地球博において行われた行催事、シンポジウム、セミナー等の理念の全部又は一部を継承し発展させる事業であって、麗水万博の会期中に会場内で実施することが相応しい事業であること。
- (2) 愛・地球博を想起させるとともに、その基本理念を将来に向けて継承し発展させることができる事業であること。
- (3) 行催事にあっては、愛・地球博の感動や意義を十分に喚起させながら、会場に集まった参加者が一体となって楽しむことができる事業であること。
- (4) シンポジウム、セミナー等にあっては、そのテーマが愛・地球博の基本理念を継承し発展させ、地球的規模の問題解決に貢献する事業であること。
- (5) 原則として、実施予算が 1 事業あたり、概ね 1,000 万円から 3,000 万円を超えない事業であること。

## 2 提案者の要件

提案者の要件は、愛・地球博、サラゴサ万博、上海万博のいずれかでの関連行事の実施実績があり、当財団と協力しながら、提案した事業を円滑に実施できる者としてします。

## 3 提案の方法

### (1) 提案書の記載事項

次の事項をA4サイズの内紙に20枚以内に記載して、「2012年麗水世界博覧会における愛・地球博成果継承発展事業企画提案書」を作成して下さい。形式は任意です。

- ① 提案者の組織名
- ② 提案者の代表者名
- ③ 担当者名、連絡先住所及び電話
- ④ 事業の名称
- ⑤ 事業の主眼（上記1(2)又は(3)の要件を満たす理由をできるだけ詳しく説明する形でまとめて下さい。
- ⑥ 実施の時期（予定でも差し支えありません。）
- ⑦ 実施の場所（予定でも差し支えありません。）
- ⑧ 事業の実施方法

複数の事業を実施しようとするときは、それぞれの事業ごとに記入します。

例えば、セミナーやシンポジウムの開催が事業となるときは、単独開催か共催かの別、テーマ、講師、対象者、参加予定人数、一般参加の可否、入場料の徴収の有無、開催会場、日時、事務局の体制、配付資料の作成、進行予定等について、具体的に記入します。

イベントが事業となる時も、単独開催

か共催かの別、出し物のテーマ、主な出演者、対象者、参加予定人数、一般参加の可否、入場料の徴収の有無、開催会場、日時、事務局の体制、進行予定等について、具体的に記入します。

- ⑨ 事業の予算案
  - ⑩ 愛・地球博又はその関連事業の実績
- (2) 提案書の提出期限
- 平成23年8月25日（木）午後5時
- (3) 提案書の提出先及びこの公募に関する問い合わせ先

〒103-0015  
東京都中央区日本橋箱崎町41-12  
日本橋第二ビル6階  
財団法人地球産業文化研究所  
愛・地球博理念継承発展事業部  
電話 03-3663-2500

## 4 採択可否の通知

提出された提案書は、原則として、当財団において審査し、その採択の可否を提案書の提出者に通知します。

## 5 その他

- (1) 応募書類は返却しません。
- (2) 応募書類の作成費用は、採択可否に係わらず、支給されません。
- (3) 提案内容の説明のために当財団の東京又は名古屋の事務所に往訪する交通費は、自己負担となります。
- (4) 提案書の内容が採択された場合には、原則として、その著作権は当財団に帰属します。